

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 3月 31日
2次評価日（課長等）	26年 6月 2日

1 事業名	市民総合体育館管理事業			コード	113404	
2 担当部課	部等	教育部	課等	スポーツ振興課	作成者	伊藤 雅章
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
		政策	文化・スポーツの振興	施策	スポーツの振興	
		予算科目	スポーツ施設管理事業費	業務委託	全部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市スポーツ施設条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要（簡潔に）	西体育館（スワンドーム）・東体育館		
目的	対象者	市民等施設利用者	
	意図	市民総合体育館利用者が、安全・快適に利用できるよう、指定管理者を指定し施設の適正な管理運営を行う。	

5 施設の管理運営状況			
指定管理者	シンコースポーツ株式会社	25年度指定管理料	52,989,300 円
施設における通常業務	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料等の徴収		
事業の実施内容	<p>(25年度に施設で行った運営事業・自主事業など)</p> <p>○業務内容 清掃、環境衛生管理、建築物・建設設備保守管理、備品等維持管理、警備、応急措置、窓口受付、大会等準備、駐車場運営等</p> <p>○自主事業 施設稼働率の低い平日昼間～夕方に指定管理者による各種スポーツ教室を実施 トレーニングルームのレイアウト変更・器具の増設 スポーツ用品・食品・スポーツ飲料等の販売</p>		
前年度の課題への対応	総合型地域スポーツクラブが各地区において実施する、高齢者向け各種スポーツ教室について、地域に出向きPRを行い、新たに4地区において高齢者向けスポーツ教室がスタートするとともに、全体交流会を平日昼間の時間帯に市民総合体育館において2回開催し、施設の利用促進を図った。		

6 施設の利用状況	*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	62.3%	78.1%	76.0%	
年間開設日数（日）	335	334	334	334
1日の開設時間（時間）	12.5	12.5	12.5	12.5
年間利用可能時間（時間）	4,188	4,175	4,175	4,175
年間利用実績（時間）	2,607	3,260	3,174	
② 年間利用者数（人）	163,156	185,648	185,955	185,955
有料利用者数	93,189	97,536	99,061	99,061
無料利用者数	41,378	55,048	50,665	50,665
減免措置者数	28,589	33,064	36,229	36,229
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	487.0	555.8	556.8	556.8
⑤ 施設利用状況の説明	年間利用実績については、スワンドーム専用予約時間（4面以上）にて算出			

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	212,141,108	53,327,365	53,174,979	56,618,600
経常経費	55,680,590	53,327,365	53,174,979	56,618,600
臨時的経費	156,460,518	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	320,000	320,000	320,000	320,000
正規職員の人数(人)	0.04	0.04	0.04	0.04
③ 合計コスト(①+②)	212,461,108	53,647,365	53,494,979	56,938,600
前年度比		25.3%	99.7%	106.4%
財源	117,605,455	40,008,888	40,107,358	41,076,600
一般財源				
内訳	94,855,653	13,638,477	13,387,621	15,862,000
特定財源				
* 特定財源の説明	施設使用料、財産使用料、財産管理収入、私用電気料、公衆電話受託収入、広告料、補助金・助成金、起債等			
④ 施設使用料年間収入額	10,488,163	11,351,125	10,937,950	12,759,000
⑤ 年間減免措置額	3,620,489	4,409,000	3,746,450	3,746,450
⑥ 受益者負担割合	6.7%	29.6%	27.6%	29.2%
⑦ 活動一単位あたりコスト	343	289	288	
前年度比		84.2%	99.6%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1	
1日あたり利用者数、件数	前年度比 100.2%	
⑤ 施設使用料収入が増加した。		0
施設使用料年間収入額	前年度比 96.4%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	平日昼間の施設稼働率の向上が課題である。	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	いきいき高齢者スポーツ推進事業により、総合型地域スポーツクラブが各地区において実施する高齢者向け各種スポーツ教室について、地域に出向きPRを行い利用促進を図るとともに、全体交流会を平日昼間の時間帯に市民総合体育館で開催し、施設の利用促進を図る。	
改善開始時期	平成26年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
	予定事業費	円	予定時期
内容			